

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			
	2	職員の配置数は適切であるか	9			児発管以外、学童Aに4名、学童3名の職員配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4		引き出しに絵カードを貼って整理しやすくするなど工夫しているが、まだまだ改善できると思われる。車椅子の方は難しいが、今の利用には問題ない。夜間は駐車場周辺が暗い。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9			年2回、法人として面談を行っている。目標設定に対し、中間報告、振り返りをして、人事考課、来年度の配置に役立てている。（パートまで）
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			年1回このアンケートを実施し、指摘された内容について、職員間で共有し、放デイとして法人として検討していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1		HPには毎年アップしている。 そのことを知らない職員がいると思われるので、共有できる仕組みを整えたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	1		第三者による外部評価は行っていないが、年5回の理事会で放デイの活動報告をしてアドバイスをいただいている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			法人として虐待研修、連携医研修、実践報告会を毎年行っている。サビ児管や強度行動障害研修にも随時出している。他基幹相談や、児発支援センターの研修など選択して参加している。
適 用	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			全員のニーズに応えるのは難しいが、保護者面談時に希望を聞いて将来像をイメージした個別課題、集団の課題を検討して、計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	4		手帳の等級以外には保護者から教えて頂いた発達検査の結果から支援を考えている。しかしながら、子どもとの関わりの中で発見したことの方が有効である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9			いろいろな行事、活動企画を分担して行うことで、どの職員も活動を考えてもらえるので大事。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		上記の計画を実施し、振り返り継続しつつも、同じ内容にならない工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2		土曜は子どもたちで決めた活動を行う、長期は子どもたちが行きたいところ（社会体験活動）を行う。平日は個別目標を集団の中で実現できるように設定している。

切 な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	個別目標は集団活動の中で実現するので、組み合わせではなく同時であるが、目標を明文化して張り出し、各職員が支援の中で生かせるように配慮している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		13:15～のミーティングで必ず確認している。パートさんの時間を変更し参加できるようにしたことで、共有できる人数が増えてよかった。その日の活動、送迎、1対1配置など必要なその他、前日の子どもの気づきを共有している。担当者会議もその時間に行うようにした。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	5	必ずではないが、必要に応じて行う。個別記録の中に気づいたことは各チームで共有している。緊急の用件はその場で共有している。送迎等で夕方の振り返りは難しいが、翌日に情報共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		個別目標ごとにありのままを記録している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9		半期ごとにきちんと行っている。個別支援計画作成の流れを改善し、担当者会議も日々のミーティングに入れ込んで全体で話すようになり、支援につながっている。職員で回覧しアドバイスを書き込んでもらっている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	2	年間計画を立てている。その内容をカテゴリー毎にしてバランスが取れているか検証している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		児発管の他、各チームに入ってもらっている。時には学校の先生も交えて行っている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9		学校行事や下校時間などの確認は保護者を介して行っているが、抜けがあることも多い。月毎に希望表を保護者に出して書き込んでもらっているが、なかなか保護者によって提出が難しい方もいる。学校から月予定表を頂いているところもあって、まちまちである。情報を頂けない保護者について事業所から学校に問い合わせることが難しいので、困っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	2	該当者がいない。現在ははないが、もしいたらちゃんと整えると思う。強度行動障害が数名いるので、共存できるか難しい。受け入れの場合は連携医（津田医師）と相談している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			コロナの為難しい時もあるが、前年度に保育園に行き、様子を見たり話を聞いたりしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	2		移行支援会議は開いている。必要情報は共有している。今年は高3生が3名で、1人は本事業所の生活介護が進路先となる。移行支援会議で共有して
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2		研修を保護者にもお知らせしている。職員にも参加の呼びかけは行った。荒木先生の研修はとても良かったので、職員にPPを回覧した。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	4	1	コロナの為難しい。野菜を置いてもらったりなど、やりとりしている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	契約時に丁寧に説明を行っている。支援の内容については、面談時にお知らせしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		法人としては家族会、相談会を定期的に開いている。年2回の面談時に困っている事がないかお聞きしている。適切な助言が難しい時は、相談員に連絡している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9		法人の親の会の活動で月1回程度のイベントがあるが、担当職員が参加している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		基本メールで保護者とはやり取りすることが多いが、苦情については迅速に電話で対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		月1回の学童通信、3か月に1回の法人の機関誌などで、保護者にはお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	1	シュレッダーと裏紙があいまい。適切でないものが裏紙に混ざっているので注意。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9		言い方に気を付けている。保護者によっては適切な方法で。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9		法人の理念の3つ目に「地域とともに」を掲げており、コロナ禍であっても、敬老会、ハロウィン、地域交流会、焼き芋大会、お茶会など年間計画通り行うことができた。市社協の事例発表にも参加出来た。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2	玄関に置いてあるが、保護者が見て理解してくれるのかは分からない。機関誌や学童通信でも実施したことをお知らせしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		火災・地震の他、水害訓練、失踪訓練を行った。子どもたちが真剣に取り組む様子がうかがえた。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		今年度虐待防止委員会を作り、年2回の研修を行った。2回目は県大の相馬先生のお話をお聞きした。他、職員にはセルフチェックシートを月1回程度書いてもらい、学童会議で共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1	マニュアルを作り、職員内で回覧している。該当者がいないが、実地指導を受けて、指針と保護者同意書の作成を行った。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	2
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			すぐに書き込み、翌日のミーティングで、解決策を考えている。月1回の職員会議で全体で共有し、理事会にもあげている。